

## 岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

① 第三者評価機関名

NPO法人 ナルク岐阜福祉調査センター

② 事業者情報

名称：岐阜市立あいかわ保育所	種別 保育所
所長： 坂井田順子	定員 70名
所在地 岐阜市加野6丁目26-13	TEL 058-243-1155

総評

評価調査日：平成28年12月19日及び平成28年12月20日

◇特に評価の高い点

岐阜市立あいかわ保育所は、昭和45年4月定員60人で開所された。折から、高度成長期を迎え、地域の団塊の世代のための、ニュータウンの建設もあり、世帯人口の増加は顕著であった。このため、昭和47年4月に保育室3室、昭和51年4月には遊戯室が増設され、昭和52年4月には定員120人となった。その後は、子育ても一段落し、独立してニュータウンを離れる人も多く、現在は0歳から5歳児まで、43人の子どもが入所している。

あいかわ保育所は、岐阜市の北東部に位置する。周囲は百楽公園や、田園地帯などが広がり、春はタンポポ摘み、夏はザリガニ採り、秋はドングリ拾いと自然環境に恵まれた地域である。

建物は、木造瓦葺平屋建、園庭にはプールが設置されている。建築後46年の木造の園舎は、保育室床のフローリング化、廊下床の張替えなど、度々の改修はされているが、よく手入れされており、木造建物の温もりが感じられるような、アットホームな雰囲気のある保育所であった。当センターが行った、保護者アンケートによる満足度調査でも、満足度の高い評価が得られている。

園庭は、子ども達が遊ぶには十分な広さがあり、運動会でも保護者の参観スペースも確保できている。ブランコ、鉄棒、砂場はあるが、登り棒、滑り台は撤去されている。撤去場所には、総合遊具の設置が計画されている。幸い保育所に隣接する百楽公園に滑り台などもあるので、子ども達は、折に触れて百楽公園の滑り台なども楽しんでいるようであった。園庭の周囲には野菜畑があり、JAの協力で季節の野菜を栽培、収穫しているが、今は玉ねぎの苗が植えられていた。

あいかわ保育所は、0歳児（みかん組）、1歳児（りんご組）、2歳児（ばなな組）、以上児（そら組）に分かれている。このうち以上児は異年齢保育である。3歳児・4歳児・5歳児が合同のクラス編成であり、（そら組）と呼んでいる。そして（そら組）の3歳児を「ほし」4歳児を「つき」5歳児を「たいう」と呼んでいる。異年齢保育は平成27年度から実施されたが、初年度は保護者にも、若干の不安もあったようであるが、2年目の今年は定着しているといえる。

今年の運動会の保護者アンケートでは、異年齢保育について『大きい子の姿を見て、小さい子も真似

をしてできるのでいいと思います。小さな子が競技をしているとき、大きな子が手伝いをしてくれていたのも、日頃からの関わりで、良く知っているお兄ちゃんがゴールにいてくれることは安心できたと思う』、『年少は年中・年長を見て成長し、年中は年長への憧れと、年少への見本に、年長は責任感と使命感が養われていくと感じた』等の意見が寄せられていた。

9時30分頃になると、年長組の当番が、事務所の放送設備からマイクで『おはようございます。これから外で体操をします・・・』とアナウンスする。体操の時は、当番は前に立って体操のリードをする。2人制の多い当番制であるが、あいかわ保育所では1人制である。3月だけは年中組が、当番の見習いをするので2人制になるようである。朝の体操が終わると所長は、並んでいる子どもたちに『今日と明日の2日間、ナルクのYさん、Oさん、Kさんが、皆さんがどんなことをしているか見にいっしゃいました。よろしくとごあいさつしましょう』と声をかけると、園児たちは、声をそろえて『よろしくおねがいします』・・・朝の体操の時に、園児からご挨拶を受けたのは、調査員初めての経験であった。

調査員は、訪問初日に手作りのおもちゃを持参し、所長にお渡ししたが、二日目の朝、調査員を見かけた園児の一人から『おもちゃ、ありがとうございます』とご挨拶があった。おもちゃのお礼を、園児から受けたのは、調査員初めての経験であった。

中長期計画、年度計画では「食育の推進」が掲げられているが、どの組も給食の時間は明るく、楽しい雰囲気保育室に満ちている。異年齢保育で3歳児～5歳児が同じ机で食事するので、どうしても早く食べる子、遅い子の差がでるが、保育士は遅い子に対しても決して、せかすことなく、ゆっくり食べ終わるまで待っている。嫌いな野菜には時間はかかるが、残さず食べきっている。食べ残しは殆どない。給食に関しても、保護者アンケートで殆どの保護者から満足との回答が寄せられていた。

岐阜市が、中長期計画事業として平成24年度から実施している公立保育所保育研究会は4年目に入り、軌道に乗っている。28年度は「遊び方・用具の使い方のマニュアル作り」を行い、また、園内・外の公開保育が行われている。あいかわ保育所へは市内5事業所の保育士が参加し、あいかわ保育所の保育士は市内4保育所の公開保育に参加している。マニュアルの完成が期待される。

◇改善を求められる点

### ③ 第三者評価結果に対する事業者のコメント

第三者評価を受審したことで、改めてマニュアル・保育内容・環境を丁寧に見直すことができ、問題点や目的が明確になり、職員間で話し合いを持ちながら、全職員で協力し改善してきたことで質の向上につながってきたと感じます。また、地域や保護者の皆様にも支えられていることを実感しました。今後も継続して、保育士・保育所の自己評価を行いながら保育所としての特性を生かし、子ども達の発達を保障し最善の利益につながる保育を実施していきたいと思っております。

### ④ 評価項目の第三者評価結果 (別紙)